

安納紅の新優良系統「B2号」の地上部特性と収量性

安納紅「B2号」は、「B1号」に比べて良質な苗が生産でき、収量性や塊根部の外観特性が同等、蒸しいもブリックスが同等以上

背景・目的

- ・種子島で生産される「安納いも」は、糖度の高さや食味の良さにより全国的に高い知名度
- ・「安納紅」は、平成21年以降、ウイルスフリー化した優良系統の「B1号」を利用
- ・「B1号」の長期利用により節間の長い苗が増加し、折損等による活着不良や収量の低下が懸念されるため、新たな優良系統への原原種更新が必要

成果の内容

安納紅「B2号」は現在供給している「B1号」と比較して

- ・育苗時の茎長は短く、節数は多く、節間長は短い
- ・上いも重や一個重は同等で、上いも個数や一株個数は多い
- ・紡錘形で、形状の揃いは同等。蒸しいもブリックスは同等以上



図1 育苗時における茎長と節間長
注) 育苗開始3週間後に調査

図2 育苗時の苗形状
撮影: 令和3年5月中旬

表1 熊毛支場及び現地試験における「B2号」と「B1号」の収量性など

ほ場	系統	上いも重 (kg/a)	一個重 (g/個)	上いも個数 (個/a)	一株個数 (個/株)	形状の揃い	蒸しいも Brix %
熊毛支場	B2号	311	109	2,844	9.9	○	12.1
	B1号	296	126	2,344	8.2	○	11.7
現地	B2号	180	113	1,599	5.7	○	16.0
	B1号	161	130	1,150	4.1	○	13.9

注1) 熊毛支場: 植付が令和3年6月2日, 収穫が9月29日
2) 現地: 植付が令和3年6月11日, 収穫が10月29日。県園芸振興協議会種子島支部調査
3) 蒸しいもBrixは1:1希釈法による



図3 「B2号」の外観

期待される効果

○「安納紅」の苗品質の向上



育苗時の苗生育状況



移植時の健全苗

○品質の安定と収量の増加による収益性の向上



現地圃場における生育状況



収穫直後の「B2号」

○普及対象・範囲

種子島の「安納いも」生産者

鹿児島県農業開発総合センター
熊毛支場作物研究室